

## あかしSDGs推進審議会（議事要旨）

日 時	2022年(令和4年)2月13日(日) 10:00~11:25
場 所	市役所議会棟2階 大会議室
出席者	坂下会長、中野副会長、井上副会長 飯塚委員、伊藤委員、小河委員、河村委員、木戸委員、崎野委員、 四方委員、竹内委員、堂本委員、森川委員、山下委員、岩村委員、 小野委員、川下委員、西野委員、宮川委員、森口委員、雪永委員、 横山委員 <u>WEB参加</u> 川島委員、菊井委員
報告・審議事項	(1) あかしSDGs推進計画等の策定スケジュールについて (2) あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）答申案について (3) あかしSDGs前期戦略計画（明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期））案について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> あかしSDGs推進計画等の策定スケジュールについて</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span> あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）答申案</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span> あかしSDGs前期戦略計画（明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期））案</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料1</span> （仮称）あかしSDGs推進計画素案等に対する意見募集の結果について</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料2</span> 第3回あかしSDGs推進審議会以降の取組における主な意見について</li> </ul>
事務局	宮脇副市長、横田政策局長、政策局SDGs推進室

### 1 開 会

#### （会長）

- ・ 今回で、審議会の計画最終案を取りまとめることとなる。コロナ禍にあり、委員が集っての審議会があまり開催できない状況もあったが、書面による意見聴取や少人数での市長との意見交換会を開催するなど、工夫しながら計画案を作成してきた。本日もスムーズな議事進行にご協力願いたい。

### 2 議 事

**【報告事項】**

(1) ①(仮称)あかしSDGs推進計画等の策定スケジュールについて

※事務局から資料説明(資料1)

(一同了承)

**【審議事項】**

(2) ①あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)答申案について

※事務局から資料説明(資料2)

(会長)

・答申案について、御意見、御質問があればお願いしたい。

(A委員)

・21ページ「(4) 行政運営の基本姿勢」の「①市民主体のまちづくり」において、まちづくりを進めていく主体の中に、「市」が漏れているのではないか。

(事務局)

・ここでは、行政運営の基本姿勢として、市側から見た市民主体のまちづくりについて記載しており、市を主語として、市民、事業者、地域やNPOなどの活動団体などの多様な主体とパートナーシップにより市民主体のまちづくりを進める趣旨で記載している。

(会長)

・他に意見はないか。  
・それでは、推進計画に関してはこの内容でまとめていくということによろしいか。

(一同了承)

(3) ②あかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))案について

※事務局から資料説明(資料3)

(会長)

- ・計画案について、御意見、御質問があればお願いしたい。

#### (B委員)

- ・7ページにある「柱1 豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める」について、地球温暖化は地球規模での問題であり、市の取組は直接関係がないかもしれないが、意識としてはしっかりと持つべきである。取組内容が少し具体性に欠けるように感じる。
- ・温暖化の影響で今の日本には四季がなくなっている。それを食い止めるためには、地球全体で取り組む必要があるが、まずは、市民一人ひとりの意識が変わって、省エネやごみの減量化に取り組む、必要な取組を選別しながら地球の資源を守っていかなければ、温暖化は止まらないと思う。
- ・毎年起こる大型の洪水や台風などは、市民一人ひとりがしっかりと取り組めば防げるものとする。そういった考えに行政も変わってほしい。

#### (会長)

- ・具体的な取組が見えないとの御意見だと思うが、全体的な計画はどうしても方向性として抽象的な内容になってしまう。各具体的な対策は、これから盛り込まれていくものとする。
- ・環境については、施策展開の柱として、最初に記載されていることから、本計画では一番大切にされているものだと理解している。

#### (事務局)

- ・地球規模の課題であっても、市民一人ひとりの取組が重要であることは十分に理解している。国や県の動向を見るとは、国や県に任せるのではなく、足並みを揃えながら、先進的な施策を取り入れつつ実施していきたいとの思いからである。
- ・具体的な施策は、環境基本計画などの分野別の個別計画で定めていきたいと考えている。

#### (B委員)

- ・改めて市の考えを確認したかったので、質問させていただいた。
- ・もう1点、今回のパブリックコメントでも意見があった原子力災害について、昨年、ある県で水道橋から水が漏れる事故があった。水道水が流れる管でも破損するのであれば、原子力発電所のパイプもいつ壊れてもおかしくないのではないか。
- ・福井県の原子力発電所もすでに40年を超えており、その施設において、原子炉を冷やすために海水をパイプに通しているが、そのパイプが破損することを考えると、明石から100キロしか離れていないところでも起こり得るものである。

- ・発生してしまってから、子どもたちが甲状腺がんの手術をして、その後、何十年もホルモン剤を飲むことになっても、事故は想定外と言えるのか。
- ・原子力災害について、どのように市民を守り、避難させるのか。また、避難してきた人をどのように受け入れるのか。一度しっかりと考えてほしい。

**(会長)**

- ・市としても対策を取られていると思うので、簡単に説明してほしい。

**(事務局)**

- ・原子力災害については、現行の地域防災計画に体制整備や応急対策を記載している。また、福井県の原子力発電所への対策としては、関西広域連合で定める原子力災害に係る広域避難ガイドラインに基づいて、関西全体で連携して取り組むこととしている。
- ・原子力災害を市民に知ってもらうため、周知を図るとともに、「施策展開の柱4 安全・安心を支える生活基盤を強化する」において、原子力災害についてもしっかりと考えながら、災害に応じた迅速かつ適切な対策を講じていきたい。

**(C委員)**

- ・計画内に横文字が多く、わかりにくい。10ページに「インクルーシブ社会」と記載があるが、注釈を入れるなどしたほうが良いのではないか。

**(会長)**

- ・インクルーシブという言葉については、聞きなれない言葉だと思うが、明石市では、インクルーシブ条例を制定するなど、この概念を広めるため、あえて言葉を使用しているものとする。
- ・計画内に注釈等をつけたほうが良いとの意見だが、事務局としてはどうか。

**(事務局)**

- ・会長がおっしゃるとおり、インクルーシブという言葉は、市民の皆さんに周知し、広げていこうとしているところである。ただ、まだ十分に周知できていないところもあるため、注釈か用語集などを付け加えたい。

**(D委員)**

- ・11ページに記載のある多文化共生社会に向けた取組を推進することは本当に良いことだと思う。明石市には人口の1%ぐらいの外国籍の方がおられる。外国籍の方が地域に転入された時に、最初に自治会から、入会勧誘ではなく、「困った時にはい

つでも相談ください」等のお声掛けをする事は大切だと思う。

(会長)

- ・具体的な活動の中で、実施してほしい取組としての御意見である。

(事務局)

- ・外国籍の方の自治会加入や生活情報の提供というのは大変重要なテーマであると認識している。自治会活動等を通じて、情報提供をする中で外国籍の方も暮らしやすいまちにしていきたいと考えている。

(会長)

- ・先ほどインクルーシブという言葉が出ていたが、インクルーシブの考えは、誰一人取り残さず、みんなで一緒に住みやすいまちづくりを進めることなので、ぜひ、具体的な活動に反映していただきたいと思う。

(E委員)

- ・あかしSDGs推進計画答申案の6ページ「日本の社会経済情勢の変化」で、在宅勤務の拡充があり、これは非常に大きな変化を与えるものとする。
- ・在宅勤務が進むと、通勤が減り、鉄道の乗客が減る。そうすると鉄道会社の経営に影響する。また、通勤が減ると中心市街地の人口が減ることになり、消費が減ることによって非常に大きな影響が出てくるものと思われる。
- ・一方で、地域社会での昼間人口が増えることにより、地域活動や地域課題への関心が高まることで、まちづくりに大きな変化が生じるのではないかと。
- ・市としても、今後、計画の検証や見直しを行う上で、在宅勤務の増加に注目しておいたほうが良いと思う。

(会長)

- ・今後、在宅勤務の動向を注視しながら、計画の検証や見直しを進めてほしいという御意見である。

(F委員)

- ・8ページに記載のある自然環境について、現在、問題となっている明石公園の木の伐採の件で、県と市のいろいろな情報が錯綜していて、何が正しいか分からないが、市街地の緑地の保全は必要である。これからも駅前の明石公園の緑を残してほしい。
- ・また、工場の緑地率について、市と市議会で議論されているが、経済的な面で考えると土地の有効活用も必要かもしれないが、工業専用エリアでの緑化の必要性があ

るからこそ、これまでに緑地率が引き上げて決められてきたのであって、それを元に戻すことに疑問を感じる。市議会の提案については、あまり意見できないが、もう少し市民の声を聞いて、進めていくべきと思う。

- ・現在、新庁舎の取組が中断しているが、建替えに当たっては、自然環境への配慮など、今後何十年も残る建物として、もう少し開かれた検討委員会などで新庁舎を考えていく必要がある。スケジュール的に、基本設計に既に入っており、実施設計もある程度決まっていて、変更ができないことがないようにお願いしたい。
- ・14ページに記載のある特別支援教育について、教育や医療は県の管轄であると思うが、インクルーシブの観点から支援教育は欠かせないものである。明石は人口が増えて、子どもも増えており、学校が足りない状況になっているが、土地が高いから建てられないというのは、理由にならないと思う。市としても特別支援学級を充実させるように言っているが、市内には、500～600人の特別支援学級の在級生がおり、小学校や中学校に特別支援学級はあっても、高等学校にはないため、明石の子どもは、高校になるといなみ野の高等部に行くしかなく、既に人数がパンクしていることを考えると、平等な教育からの観点からも高等学校の充実も必要であると考え。
- ・20ページに記載のある文化・芸術の推進について、アートシップ明石といった障害者の作品展が開催されているが、もう少し広範な形で連携して、障害者が参加できる取組を考えてほしい。

#### (会長)

- ・たくさん御指摘をいただいたが、現時点で変えてほしいという御要望なのか。それとも、今後、具体的に進めてほしいとの御意見か。

#### (F委員)

- ・中期計画として前期戦略計画が、もうすぐ始まるので、何らかの形を示していく必要があると思う。

#### (事務局)

- ・緑地の問題については、SDGsにあるように経済・社会・環境の三側面から全体が良くなるように取り組んでいきたいと考えている。工場緑地であれば、経済振興の観点から緑地を減らして土地の有効活用を図り、一方で、緑地の機能を高めたり、地域と協定を結んでもらうなど、開発も進めながら、環境も守っていくといったように、バランスを取りながら、それぞれがプラスになるように、負担も分かち合いながら、取り組んでいきたい。
- ・新庁舎については、現在、砂利揚げ場の東外港と一体的な取組を検討しているところである。その中で、自然エネルギーを活用した庁舎とすることは基本コンセプト

に入れているので、環境に配慮した建物となるように取り組んでいきたい。

- ・特別支援教育については、市としてできることとして、来年度から医者や心理士などの専門職を各学校からの要望に応じて、教職員や保護者に対して指導・助言を行う取組を進める予定である。計画には、ここまで記載できていないが、必要な取組はしっかりとやっていきたい。
- ・文化・芸術の取組のみならず、スポーツなどについても、当然障害者の方も一緒にやっていくことが市の方針なので、実際取り組む中で、計画には記載がなくても、具体的な取組を進めていきたい。

#### (会長)

- ・いろいろ御意見があったが、市として、具体的に進めていってほしい。

#### (F委員)

- ・一つの自治体でできる範囲は限られていると思うが、国・県・市とそれぞれ役割分担はある中でも、垣根を越えて連携して行ってほしい。明石も30万人以上が生活する市であるので、市の共通のまちづくりの方向性をしっかりと計画に示しながら、国や県との垣根を越えて取り組んでいけるようにしてほしい。

#### (事務局)

- ・御意見いただいた点については、反映できるところは、反映させていただきたいと思う。

#### (G委員)

- ・意見として2点あり、温室効果ガス排出量と防災面についてである。
- ・9ページにK P Iとして、温室効果ガスの排出量が設定されており、目標値が2025年度に30%減としているが、その根拠を示してもらいたい。市として、2050年度までに実質ゼロにすることは表明されているが、兵庫県では、2030年度には35%の減としている。4ページにあるまちづくりの数値目標の補足説明のように、2030年度が一つの基準の年度となるので、2030年度までにいくら減らすので、2025年度はその半分というような表現を加えてもらえるとわかりやすい。
- ・16ページに記載のある施策展開の柱4は、安全・安心につながる市民にとって一番大きな問題であると考えている。その中で、主な施策に掲げている地域防災力・災害対応力の向上は、市と市民が一緒になって取り組んでいく必要がある。要配慮者の個別支援計画やジェンダーのことも大事なことだが、その大本となる対応や体制づくりを定めた地区の防災計画が非常に重要になるのではないかと。もし、可能であれば防災力・災害対応力の向上の中に「地区防災計画の推進」といった表現を入れ

てもらえたらと思う。

(会長)

- ・1点目は、K P I の算出根拠を示してくれると分かりやすいということであった。

(事務局)

- ・スペースは限られているが、記載できる範囲で示していきたいと思う。

(会長)

- ・防災については、地域防災力のところに説明を追加して、地区の防災体制づくりと読めるようにしてほしいとの御意見だと思う。

(G委員)

- ・防災については、地域で進める上で、まず地域全体の共通認識というのがすごく大事なことであり、その中で当然、要配慮者の問題やジェンダーの問題等が含まれてくると思う。地区として進めていくことを文言で入れると良いと思う。
- ・防災の取組に100%はないと思うが、地域に応じた地区の防災力が非常に重要になることから、市とも連携しながらやっていく必要があるので、そういった要素も入れてもらえたらと思う。

(事務局)

- ・今後、地域防災計画をつくっていく中でも、ジェンダー問題の視点や、要配慮者への支援という視点を加えて検討していきたい。前期戦略計画に文言を加えるかどうかについては、改めて検討したい。

(H委員)

- ・工場の緑地率について、バランスよく取り組むということで御回答いただいたが、労働者の代表として、前期戦略計画のタイトルにあるように仕事の創生のもと、雇用の安定を第一に考えた際に、別の問題もあることをお伝えしておきたい。
- ・近隣自治体では、緑化率をかなり緩和しているところがある中で、明石市では、今後、その緩和率と負担が決まっていくときに、企業がその負担を考慮して、他自治体に出て行ってしまわないかと懸念している。

(会長)

- ・貴重なご意見を賜った。他にないか。



(I 委員)

- ・あかしSDGs推進計画の4ページにあるSDGsについての図にタイトルを入れたほうが良いと思う。一般的には、挿入する図やグラフにタイトルが入っているものなので、タイトルなしだと少し分かりにくく感じる。

(事務局)

- ・SDGsの構成については、分かりやすさを心がけてきたが、図にタイトルを入れるという視点が抜けていたため、対応させていただきたい。

(B 委員)

- ・F委員の意見に賛成だ。明石公園の伐採問題が起こっている一方で、地球温暖化と言われながら、工場緑地が緩和されてきている。
- ・市の新庁舎について、省エネルギーとかではなく、ゼロエネルギーの庁舎を建設すれば、先進性が評価され、明石市のブランドとしての価値が生まれ、企業にも有利になると思う。
- ・10年先、20年先の将来を見据えてまちづくりを進める必要がある。国の補助金を有効に活用したり、国の取組を専門的に研究する職員を配置して、より先進的に取り組むことはできないか。

(事務局)

- ・持続可能なまちづくりを進めていく上で、繰り返しになるが、環境も大切、経済も大切であり、これを両立させていくことが一番大切であると思う。
- ・庁舎については、ゼロエネルギーで建設できるかは難しいところもあるが、極力自然エネルギーを活用し、自然環境にも配慮した建物にしていきたいと考えている。
- ・環境についても、組織や専門職をどうするかといった課題はあるが、来年度以降もしっかり取り組んでいきたいと考えている。

(B 委員)

- ・ゼロエネルギーの庁舎を建てるということを検討されたことはあるのか。2年前の技術と今の技術はすごく変わってきている。世界中でゼロエネルギーの建物が建てられている。明石市ももう一度見直す必要があるのではないか。
- ・新庁舎は、市民がお手本にできる庁舎にして欲しい。

(事務局)

- ・庁舎については、地熱を取り入れたり、ZEBの考え方である省エネと発電によるゼロエネルギーの実現といった取組も踏まえながら、どのようなことができるのか

検討しているところである。

**(会長)**

- ・市においては、新しい技術等を取り入れて、全国に先駆けた取組ができるように検討していただきたいと思う。
- ・ほかにご意見はないか。それでは、前期戦略計画に関してはこの内容でまとめていくということによろしいか。

(一同了承)

**(会長)**

- ・本日の審議事項は以上である。
- ・各委員から非常に貴重な意見をいただき、本当に感謝申し上げたい。
- ・計画の修正については、時間の関係もあり、会長に一任していただき、事務局と整理させていただきたいと思う。
- ・策定における審議会はこれで最後となるので、副会長からも一言ずつお願いしたい。

**(A副会長)**

- ・これまでも、地域の取組に参加させていただいたが、これほどまでに、丁寧なまちづくりを考える場はなかったように思う。明石市は一番先進的なまちであり、これから5年、10年先の将来に向けて、まちの発展の可能性が非常に高いというふうに感じている。
- ・委員の皆さまには、本当に感謝申し上げたい。

**(B副会長)**

- ・これまで20年以上、明石市とは関わらせていただいております、この審議会にも参加させていただいたが、いつも思うことは、真剣に明石市のことを考えてくれる市民が多いことである。今日も非常に貴重な御意見をいただき、本当に明石市はこうした市民の熱意という財産に恵まれていると思う。
- ・SDGsの経済・社会・環境の側面をバランスよく取り組むことは、大変難しいことだが、市民の皆様が、いろいろな御意見や御要望に加え、素晴らしいアイデアを真剣に発言されることで、市がバランスを取りながら、最大限に工夫して、取組に反映されていくものだと思う。
- ・市民の力という宝がある明石市だからこそ、全国の中でも先駆けて、先進的なことをやっていけるのだと、改めて実感させていただいた。

- ・今後ともよろしくお願ひしたい。

#### (会長)

- ・私は、明石市に住んでおり、休日になると松江海岸まで行くことを日課にしている。本当に明石は住みやすいところだと感じており、さらなる経済活動発展の可能性も秘めていることから、環境を守りながら、経済活動を活性化させていく仕組みづくりが一番大切だと思う。そういった活動を本当に皆さんの御意見をいただきながら、実現していけたら良いと考えている。
- ・SDGsを踏まえたまちづくりの指針となる総合計画について、今回でまとめることができ、SDGs未来都市に選定された明石市にふさわしいものになったと思っている。今後、足りない部分が出てきた際には、見直ししながら、修正していくことが重要である。
- ・市においては、本計画に基づき、まち全体で取組を推進し、市民の皆さんが一層安心して、安全に暮らし続けられるまちづくりにご尽力賜りたいと思う。
- ・さきほど副会長からの話にもあったが、熱心に自分事として取り組む皆さんの熱意こそが明石市の宝だと思う。委員の皆さまとこの審議会に参画できたことを誇りに思うとともに、改めて感謝申し上げたい。
- ・このメンバーでの審議会は終わりとなるが、計画を実行していくことが何よりも重要なこととなるため、引き続き、皆さまのご協力をお願いしたい。
- ・それでは、事務局にお返りする。

#### (事務局)

- ・本日は多数の御意見をいただき、感謝申し上げたい。
- ・審議会の閉会に当たり、副市長より御挨拶させていただきたい。

#### (宮脇副市長)

- ・本日も貴重な御意見をいただき、厚く御礼申し上げたい。
- ・今から2年前にこの審議会を設置させていただいた。新型コロナウイルスの影響もあり、2年という大変長い期間にわたり、何度もお手数、ご尽力賜り、熱心に御意見を賜りましたこと、会長、副会長をはじめ各委員の皆様、本当に厚く御礼申し上げたい。
- ・本日賜った貴重な御意見を含めて、最終案を整理させていただきたいと考えている。また、個々具体的な貴重な御意見についても、今後、市政運営、施策、事業を立案する中でしっかりと生かしていきたいと考えている。
- ・今後、審議会からの答申をいただき、3月市議会に計画案を提案し、同意をいただければ、新年度から新たな総合計画と総合戦略に基づいて、本格的なSDGsのま

ちづくりを推進していくこととなる。

- ・本日の審議会で、環境については、市民一人ひとりの意識を変えていかなければならないとの御意見があった。SDGsについては、委員の皆様や産官学の分野では、かなり浸透しているが、これから進めるに当たり、本当に市民一人ひとりの方にご理解とご協力をいただくことが重要だと考えている。
- ・そのためには、周知をしっかりとやっていきたい。市民の皆様の意識が変われば、地域が変わり、まちが変わってくると思う。各界からご参加いただいた委員の皆様方には、周知といった点も含めて、SDGs未来都市に向けた本市の取組にさらなる御協力をいただくことをお願いして、御挨拶とさせていただきたい。本当に長い間ありがとうございました。

(事務局)

- ・これをもって、第4回審議会を閉会とする。

### 3 閉 会